



# 高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



## マリークルー出前授業 きて、みて、さわって 海の生き物



マリークルー代表 吉政静夫 様



吉政館長は3年前から「タツノオトシゴ」を飼い始め、今年世界的にも珍しい「タツノオトシゴの出産シーン」の撮影に成功された方です。



タツノオトシゴの産卵はオスの育児嚢で一定の大きさになるまでオスが育てるので「オスが妊娠する」という表現を使われるようです。その様子をビデオで見せて頂きました。

### プログラム予定

8月27日(水)	9月6日(土)	9月10日(水)	9月19日(金)
早朝例会 於:十輪寺 AM 6:30~ 【職業奉仕委員会担当】	マーチング・イン高砂 於:高砂市総合体育館 【社会奉仕委員会担当】	卓話 西中会員	合同例会 (ホスト高砂R.C.) 講師 淳心学院中高等学校 校長 マルゴット氏 於:高砂神社会館

本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆様と一緒に読み下さい。



President

## 会長の時間

ロータリーの会合や「ロータリーの友」・「ガバナ―月信」の誌上等で、「決議23-34」という言葉に触れることがございます。「決議23-34」は、ロータリアンのバイブルである、と表現されることもあるようです。

そこで、この「決議23-34」採択の背景を、私なりにお話させて頂きたいと思います。

ロータリー創設から17年が経過した1922年に、「障害児救済問題」をめぐる、「個人奉仕」か「団体奉仕」かという問題が全米で大論争になり、いろいろな経緯を経て、ついには蜂の巣を突いたような大騒動に発展したそうです。R.I.理事会内部でさえ、全く意見の統一が出来ない状況だったようです。

ところが、その翌年、R.I.理事会から「障害児対策をロータリーの主たる事業とする」このために「年間1ドルの特別人頭分担金を徴収する」案が提出されました。これは、前の年から燃え盛っていた論争の火に油を注ぐようなことになり、遂に、ロータリーは空中分解寸前、という危機に立ち至ったそうです。どうにも收拾がつかず絶望状態に瀕したときに、救世主のごとくこの大論争に対する解決策とも言うべき決議案が出て参りました。それが「決議23-34」という訳です。平行線に見えた両者の主張を巧妙に噛み合わせて、みごと分裂を回避致しました。この提案が出されるに及んで理事会案は撤回となり、この34号を採択して大論争に終止符を打ったという次第です。

この決議は、ロータリーの哲学、R.I.とロータリー・クラブの定義とそれぞれの役割分担、奉仕の実践に関する詳細を定めた文書であり、「団体奉仕」と「個人奉仕」との調和を図っていると言われていいます。

その後、国際大会で部分的な改訂がなされ、ロータリー活動全般を対象としていたこの決議が、社会奉仕活動に限定されたような表現になると共に、そのタイトルも「綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針」から「社会奉仕に関する1923年の声明」と改訂されております。

近年、団体奉仕の枠を拡大しようとの思いからか、「決議23-34」の廃止あるいは大幅改訂しようとする提案が再三にわたってなされているようです。

「決議23-34」が手元がない方で、目を通して見たいと思われる方は、お申し出下さい。

以上で会長の時間を終わります。



### 委員会報告

社会奉仕委員長 マーチンゲイン高砂  
より案内ありました。

親睦委員長 7クラブゴルフコンペ

### ゲスト

兵庫県立  
東播磨高等学校  
放送部の皆さん





Donation

ニコニコ報告

鹿間 行雄

マリンクルーの皆様の日頃のご活動には頭が下がる思いです。本日は吉政様の卓話を楽しみにしています。  
平成R.C.の吉田幹事様，20周年実行委員会の中山様，ようこそ。

加古川平成R.C. 20周年実行委員会 副委員長  
中山 正紀

20周年記念事業のお願いにまいりました。本日はよろしくお願ひ致します。

加古川平成R.C. 吉田 太郎

加古川平成R.C.吉田です。20周年よろしくお願ひいたします。

姫路東R.C. 片桐 満

初めてお邪魔します。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

岡本 崇司

吉政様，卓話ありがとうございます。

栗原 康高

残暑おみまい申し上げます。新聞記事通り，ボランティアで頑張っております。

竹原 俊三

しょうはく  
先日，松柏美術館に行ってきました。  
うえむらしやうえん しやうこう あつし  
上村松園，松皇，淳之の日本画を見て来ました。良かったです。と書いていたら，今日アートサロンが飾られています。

鹿間 虹美

朝夕ちょっと涼しくなりましたが，日中はまだまだ暑い日が続きます。気温の変動に気をつけましょう。

西田 光衛

盆を無事終えさせていただきました。

渡辺 弥生

西中さん，先日はありがとうございました。

増田耕太郎・佐野 栄作・田水 敬雄  
大橋 卓司・菱田 克己

花を飾りましょう。

廣瀬 明正

JCのスポンサー吉政先輩をお迎えして。

中右 和宏

本日は，吉政さん，ご苦労様です。よろしくお願ひ致します。そして東播磨高校のみな様ご苦労様です。先輩より。

アートサロン内垣

例会の貴重なお時間を賜り有難く厚く御礼申し上げます。



Secretary

幹事報告

第6回 通算1370回

1. 回覧その他

国際ロータリー第2680地区アクトのご案内が届いております。  
日時：2008年9月14日(日)13:00~18:30

場所：洲本市由良交流センターにて  
ロータリー青少年交換長期プログラム派遣学生募集のご案内が来ております。  
前年度GSE派遣報告書が届いております。  
ロータリー情報集のお申し込みが届いております。  
東播磨薬物乱用防止指導員協議会より寄付への礼状が届いております。



Neighbor-club information

近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
高砂ロータリークラブ	早朝例会	8/29(金)AM6:30~ 於:十輪寺
明石南ロータリークラブ	公開例会 納涼寄席 出席される方は事前に連絡をお願いします	8/29(金)
高砂ロータリークラブ	移動例会 高砂青松R.C.との 合同例会	9/19(金) 於:高砂神社会館
〃	休会(定款第6条1節cによる)	10/10(金)

## 例会記録 2008. 8. 20 (水) 通算1446回

- ソング 「奉仕の理想」「歓迎歌」
- 四つのテスト 米山奨学委員会 青木委員長
- 本日のゲスト 加古川平成ロータリークラブ 吉田幹事  
" 20周年記念実行委員 中山副委員長
- 来訪ロータリー アン報告 片桐 満様(姫路東R.C.)
- 出席報告 8月6日 会員数 52名 欠席者 7名 出席率 86.54% <修正による>  
(この内出席免除者9名)  
8月20日 会員数 52名 欠席者 11名 出席率 78.85%  
(この内出席免除者9名)



## 播磨ゆかりの偉人伝 ⑥

### 別所長治 (べっしょ・ながはる) 悲運の若き三木城主

「いまはただ うらみもあらじ 諸人(もろびと)の いのちにかはる 我身とおもへば」  
別所長治, 23歳の若さで自刃する前に詠んだ辞世の句である。

なんともせつなく、やるせない気持ちにさせられる内容だ。

室町時代末期は天下統一へ戦国時代の真っ只中であつた。長治は、鎌倉時代末期から安土桃山時代にかけて播磨を支配した大名・赤松氏の一族。三木城五代目の城主である。当初は織田信長勢と友好関係にあつたが、その後反旗を翻し中国の毛利方と手を組むことになる。

悲劇の三木合戦はそこから始まつた。織田家の総大将・羽柴(のちの豊臣)秀吉が攻め込んできたのは、天正6(1578)年。「戦わずして、なぜ武将ぞ」。若い城主はなんとも勇ましく、こう迎撃宣言したといわれる。

2万8千人の秀吉軍に対して、三木城には約7千人あまりが立て籠もつた。徹底抗戦の構えである。ただ、秀吉軍の本陣平井山に3千人を出兵するが、敗戦。東播磨八郡にある支城も次々と落城した。秀吉軍に兵糧も断たれて大ピンチとなつた。

天正8(1580)年1月、三木城内の食料はついに底をつき、いわゆる「三木の干殺し」が極限に近づいていた。草の根、木の皮、小動物を食べ命をつないだといわれている。

22カ月に及ぶ籠城ののち、長治は降伏を決断。自らの命と引き換えに城兵の命を助けるよう秀吉側に申し出、了承された。妻と4人の子を刺殺し自刃したのは、天正8年1月16日のことだつた。

三木城址の本丸跡に、冒頭の句が刻まれた石碑がある。



(主な参考文献=寺林峻・著「播磨百人伝」神戸新聞総合出版センター)

会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)